



地域防犯の 維持・強化に

たくさんの関係者のご尽力によって、前橋警察署「大友町交番」が開所することとなり、大変うれしく思います。

前橋警察署の移転が決まったときに、地元住民の皆さんから地域の安全に不安を感じるという声が多かったことから、跡地に交番の設置をお願いしたところ、地域の防犯力の維持・強化のため、このように立派な交番が完成いたしました。前橋警察署をはじめ関係各位に心からお礼を申し上げます。

わたしは、市長就任以来、安全・安心なまちづくりを推進するため、市民の皆さんのご協力をいただきながら、「まちの安全ひろげたい」などの活動を進めています。

しかしながら、市民の力だけで地域の安全を守ることには限度があり、やはり警察の力がなくてはならないと考えています。

大友町交番が、地域の相談所として市民の皆さんに愛されるとともに、犯罪の撲滅に大いに力を発揮されることを期待しています。
(大友町交番開所式、3月29日、大友町交番)

ふれあい 広場

まえばし シティフラッシュ



三月二十六日、中心商店街でツナガリズム祭りが行われました。会場ではお笑いライブやフリーマーケットなどが行われ、家族連れや友人同士で一万五千人を超える人出が。各通りとともに大にぎわいで、熱気と活気に満ちていました。

中心市街地が活気に満ち



子どもたちが熱演

4月2日、児童文化センターで演劇クラブの公演「イソップのお話」が行われました。動物にふんしたかわいい子どもたち20人が「ライオンの皮を着たロバ」「ウサギとカメ」などを熱演。観衆から大きな拍手が送られていました。

進めよう交通安全

前橋公園野外ステージで4月6日、春の全国交通安全運動出陣式が行われました。新小学1年生6人が高木市長らに「交通安全の約束」を元気いっばいに読み上げる姿も。式終了後、交通指導員らによる街頭指導も行われました。



桂萱地区

遊具など充実 新しい公園

四月一日、堤町ローズタウン公園が完成し、開園式が行われました。お払いなどの神事に続き、小学生の代表二人と高木市長らがテープカット。その後、記念植樹をして新しい公園の完成を祝いました。滑り台やブランコなどの遊具のほか水飲み場、トイレなどの設備も充実。早速集まった子どもたちは、真新しい遊具を使い、とても楽しそう。堤町ローズタウン自治会の芝田恒男会長は「住民の憩いの場ですから、みんなで力を合わせて良い公園にしていきたいです」と話していました。



桜咲く神社で 春の祭典



城南地区

筑井町で四月三日、近戸神社春季祭典が行われました。昔、神武天皇が亡くなった日として、この祭りが行われたのが由来。以降、毎年この日を変えずに行っています。会場や食事などは前日から準備し、当日はお昼に筑井町公民館からお練りが出発。神社に着いた後、玉串奉典し、その後は神楽を奉納しました。会場ではおもちゃやお菓子が配られることもあって、これを目当てに訪れる子どもたちも。境内の桜も満開で見ごろを迎えた神社は、祭りを楽しむ人でにぎわいました。



俳句で上毛文学賞入選

小野里 勲さん (78)

江田町

勉強不足なので一層努力を

第四十一回「上毛文学賞」俳句の部で初入選を果たした。「過去に二回、佳作に入り

募した中で、入選作以外の句

が一番よくできたと思っていました。まだまだ勉強不足。もっと努力しなくては」農業に携わり半世紀余り。自然を相手にした仕事の中で句が生まれることが多い。入選作『ねんごろに粉の命を浸しけり』も、農作業の合間にイメージがわいたという。「その場、その時に浮かんだ気持ちをすぐ句にできればいいのですが、実際には夜、机に向かつて推敲しながら作ることが多いですね。四季の変化を肌で感じる農業には題材がいっぱい。自分の実生活から生まれた気持ちを、言

葉にしていきたいと思っています」本格的に俳句に取り組み始めたのは二十年前。仕事のほかに打ち込めることが何か一つあればと思い、叔母の紹介で本庄市にある句会に入った。その後、市内の句会にも通って、指導を受けている。「俳句はとっつきやすい反面、やればやるほど奥が深いと実感しています。子どもが作った句にも素晴らしいものがたくさんあり、はっとさせられますね」と、謙虚な気持ちを忘れずに熱意を燃やしている。